病害虫発生状況調査表

調査日　令和7年7月23日

←被害大　発生なし→ ←被害大　発生なし→ ←被害大　発生なし→ ←被害大　発生なし→

地区名	品　種	葉いもち病					紋枯病					縞葉枯病					穂いもち病			すくいとり（上段） はらい落とし（下段）												見取り（25株）						その他
																				ヒメトビウンカ		セジロウンカ		トビイロウンカ		ツマグロヨコバイ		イネカメムシ		その他の斑点米カメムシ		ニカメイガ	イネミズゾウムシ	ツトムシ	コブノメイガ	イネカメムシ	ホソハリカメムシ	
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫							
庵	キヌヒカリ					25					25					25			25																			
福　澤	キヌヒカリ					25					25					25			25										15		2							斑点米カメムシ →クモヘリカメムシ（2）
																						1							1									
下 秋 里	白鶴錦					25					25					25			25		2															幼虫1		
力　万	キヌヒカリ					25					25					25			25		1										1		1			成虫3		
櫛　田	白鶴錦				5	20					25					25			25											1								
																							1															
多　賀	コシヒカリ					25					25					25			25		7																成虫1	
																						1																
下 三 河	白鶴錦					25				2	23					25			25																			
																					1																	
徳　平	キヌヒカリ					25					25					25			25			2																
																											1											
広　山	ヒノヒカリ					25					25					25			25																			
																											1											

≪調査方法≫

◎病気について

ほ場内の25株を目視で調査。
病気の発生の有無、程度を確認する。
25株のうち何株にそれぞれの病気が発生しているかを調べる。
病気の発生がなければEに分類、
発生があればA～Dに分類され、
Aが最も被害が大きい。

◎害虫について

〇すくいとり
　ほ場内を10回振りで調査。
　前に進みながら補虫網を左右水平に180度、10回振ることにより、株の上部（穂）の虫をすくい取る。その種類と数を調査する。
〇はらい落とし
　ほ場内の10株を調査。
　粘着剤を塗布した害虫調査板の上で株元を勢いよく数回叩くことにより、株にいる虫を叩き落とす。その種類と数を調査する。
〇見取り
　ほ場内の25株を目視で調査。害虫の種類と数を調査する。